

第3回「市田柿」品質コンクールが開催されました

(Vol. 3 令和6年2月)

南信州地域の特産品である「市田柿」の品質コンクールが開催されました（主催：JAみなみ信州柿部会、JAみなみ信州）。

令和5年は春先の凍霜害、梅雨明け後の高温、少雨による果実の肥大不良、加工時期の多雨によるカビの発生リスクなど、生産、加工にとって厳しい条件でしたが、3部門（170gトレーの部、700g化粧箱の部、バラの部）にあわせて48点の品質の高い「市田柿」が出品されました。会場からは場長が審査委員長、研究員が審査員として出席し、粉、色、形状、果肉、食味などの品質だけでなく、包装技術などについても評価を行い、最優秀賞1点、優秀賞4点が選出されました。「市田柿」の地域全体でのさらなる技術レベルの向上にコンクールが一役買っています。



審査会場に並ぶ出品物（トレーの部）



化粧箱の部の入賞品